

環境経営レポート

三晃プラスチック工業株式会社

2022 年度

(対象期間 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



SANKO

三晃プラスチック工業株式会社

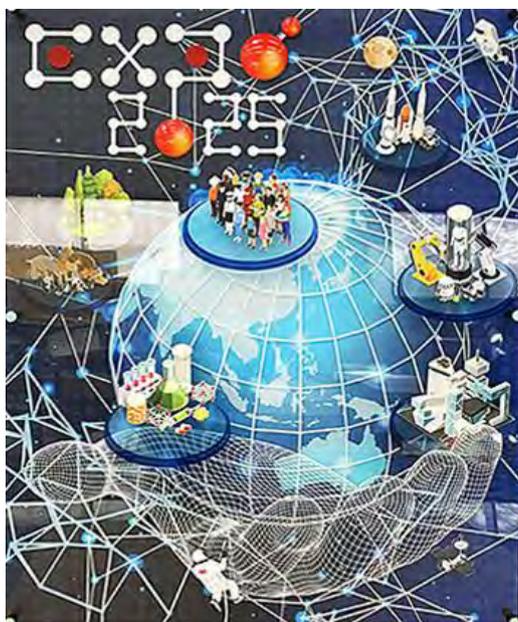


発行日： 2022年10月3日
更新日： 2023年4月3日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

「第62回公共サイン美術展」にて弊社の作品が「公益社団法人日本サインデザイン協会賞」に入賞しました！



ごあいさつ

ごあいさつ

私たち三晃プラスチック工業は、1962年の創業以来“お客様の満足”を第一に考え、看板・サイン・ディスプレイなどの各種販促媒体の製造及び施工に取り組んでまいりまし事業活動における環境負荷低減に心がけ、地球環境の保全に貢献します。

三晃プラスチック工業株式会社
代表取締役 金井 和人

環境経営方針

環境経営理念

三晃プラスチック工業は、ますます深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇などの環境問題が、経営の重要課題との認識にたち、製造・販売事業活動における環境負荷の低減を図るために、業界・団体とも連携し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ②水道水使用量の削減(水資源の保全)
 - ③廃棄物の削減
 - ④環境に配慮した製品・資材の購入を推進します
 - ⑤環境に配慮した製品の企画・開発を推進します
3. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
4. この環境経営方針は、全従業員に周知・徹底します。



制定日：2012年10月6日

改定日：2020年4月1日

代表取締役社長 **金井 和人**

組織の概要

更新日：2023年4月3日

- (1) 名称及び代表者名
三晃プラスチック工業株式会社
代表取締役社長 金井 和人
- (2) 所在地
本 社 大阪府羽曳野市川向2061
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者・担当者 金井 正次 TEL:072-958-0447
- (4) 事業内容
屋内外看板及びサイン・ディスプレイの製作・施工
- (5) 事業の規模
製品出荷額 0.02 億円
従業員 16 名
延べ床面積 528 m²
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：三晃プラスチック工業株式会社
対象事業所：本 社
対象外：なし
活動：屋内外看板及びサイン・ディスプレイの製作・施工

□事業や製品(商品)の紹介

表面シート貼、小口塗装



白色カルブに表面シート貼



表面は強力両面テープ付



■ アクリル切り文字



アクリル切り文字は、透明や乳半・乳白、カラーアクリル板等を使用し文字やロゴ・マークをカットした立体文字のことです。

主にレーザーマシンでカットを行います。面取り加工や、カットしたアクリル文字の表面に、カッティングシートやインクジェットプリントを貼付けることもできます。

アクリル切り文字



木札エッチング加工

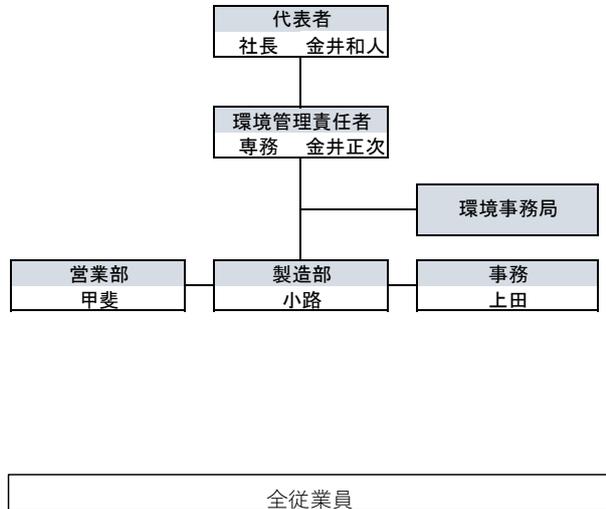


アクリル板にエッチング加工



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2022年4月3日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、製造部の事務局 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	55,136	48,549	19,065
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,500	4,500	7,839
産業廃棄物排出量	トン	0	0	0
水使用量	m ³	161	174	168

※電力の二酸化炭素排出係数（調整後） 0.351 0.418 0.318 kg-CO₂/kWh

※上記のうち二酸化炭素排出量には暖房用灯油の消費に伴う二酸化炭素排出量は含んでいます。

環境経営目標及びその実績

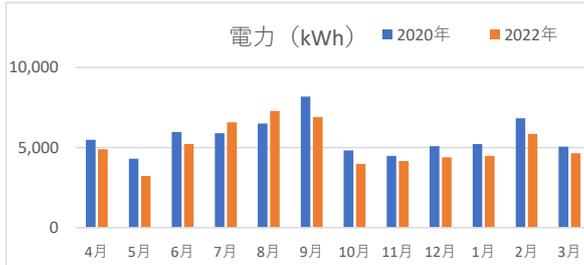
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	23,805	23,805	19,580	○	23,805	23,805
	基準年度比	2020年	100%	83%		100%	100%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	39	39	39	○	39	39
	基準年度比	2020年	100%	120%		100%	100%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	14,407	14,407	12,771	○	14,407	14,407
	基準年度比	2020年	100%	41%		100%	100%
灯油使用量の削減	kg-CO ₂	7,139	7,139	4,935	○	7,139	7,139
	基準年度比	2020年	100%	69%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	45,389	45,389	37,325	○	45,389	45,389
一般廃棄物の削減	kg	5,332	5,332	4,300	○	100	5,332
	基準年度比	2020年	100%	79%		100%	100%
水道水の削減	m ³	161	161	168		161	161
	基準年度比	2020年	100%	104%		100%	100%
環境に配慮した生産活動		行動目標(次項による)					
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

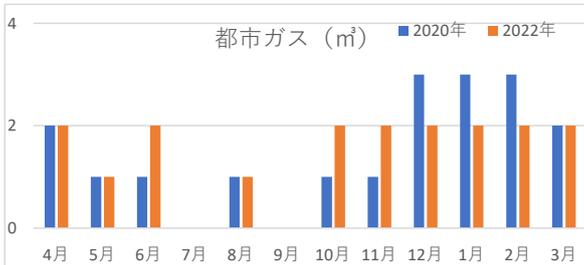
数値目標: ○達成 ×未達成
 活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	新型コロナウイルスの影響により受注・生産量が減少した為、使用電力が減少した
単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・定時退社の実施(毎週金曜日)	×	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



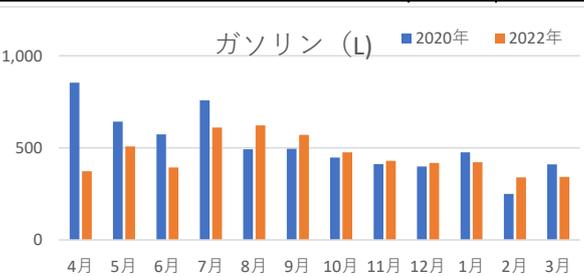
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	5,489	4,299	5,962	5,897	6,497	8,184	4,818	4,486	5,086	5,220	6,822	5,060
2022年	4,893	3,221	5,220	6,576	7,277	6,896	3,981	4,151	4,387	4,484	5,844	4,643

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	新型コロナウイルスの感染防止のため共用物の洗浄の徹底など給湯器の使用によるガス使用量の増加があったが、想定内。
・温水温度の適正化	○	

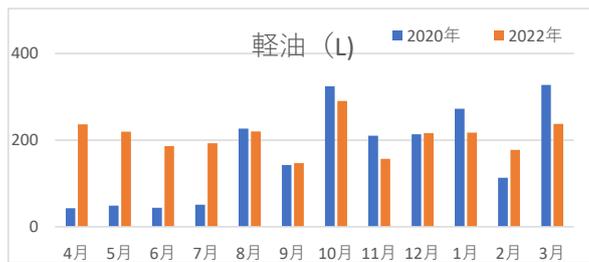


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	2	1	1	0	1	0	1	1	3	3	3	2
2022年	2	1	2	0	1	0	2	2	2	2	2	2

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	納品は引取りがメインで宅配便で発送などでほぼ賅っている。一部の取引先のみまとめて配達する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	854	643	573	758	493	494	447	411	398	476	250	411
2022年	374	508	394	611	622	571	476	429	418	421	339	343



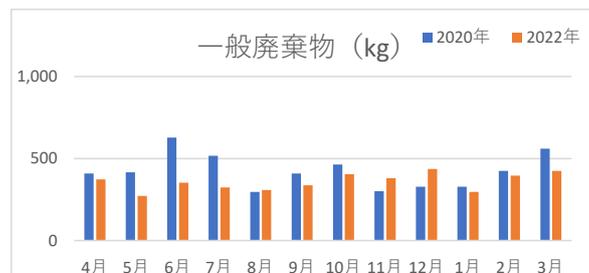
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	43	49	44	51	226	143	324	210	213	273	113	327
2022年	236	220	186	193	220	147	290	157	216	217	177	237

灯油使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	寒さが厳しい時期は使用量が増えるのはやむをえないが、トータル的には前年よりも使用量が削減できた。
・使用量削減の呼びかけ	○	



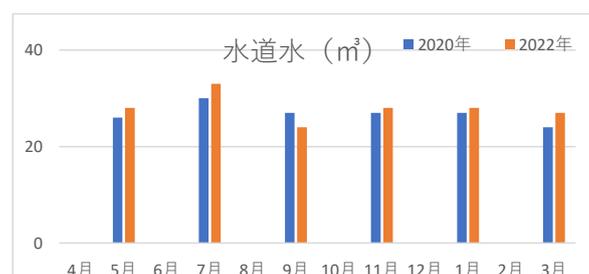
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	620	218	100	0	0	0	0	0	422	422	626	640
2022年	260	200	0	0	0	0	0	0	0	229	641	652

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ごみの分別と梱包材の再利用は徹底できているので、継続していく。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	408	416	628	516	296	408	464	300	328	328	424	560
2022年	372	272	352	324	308	336	404	380	436	296	396	424

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	新型コロナウイルスの感染防止のため、手洗いの励行などの影響で増加
・節水呼びかけ	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	0	26	0	30	0	27	0	27	0	27	0	24
2022年	0	28	0	33	0	24	0	28	0	28	0	27

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	照明商品はLED商品を第一に提案している。
・有害性の少ない資材の購入	○	今期は9割LED商品納品実現しました。
・省エネ性能の高い電気製品への交換LEI	○	また、今までグリーンマークのついた事務用品などは購入できていなかったが、
・燃費のよい自動車の採用	○	何かで購入できないか検討している

事務所で使用する事務用品などはグリーン購入法適合商品やエコマーク認定商品の購入を意識している類似品がある場合は下記マークの付いた商品を積極的に購入する活動をしている。



環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・産業廃棄物の削減、ゼロ化	○	商品の梱包材(ダンボール・包装紙・緩衝材)は材料納入時の梱包材をできる限り再利用している。古紙やアクリル板はリサイクルに出している。それ以外のは細断し一般廃棄物としている。緩衝材のみ環境に配慮した商品を不足分のみ購入している 今期は受注・生産が新型コロナウイルスの影響により減少したため廃棄物の量も減少した。 商談や打ち合わせの際には照明はLEDを提案、販売推進するようにしている。
・LED照明の販売	○	

最適な配光設計で「照射距離」をさらにパワーアップ!!

アドビュー-L2

新しいアドビュー-L2は新設計のLEDモジュールで、照射距離が従来型(アドビュー-L)の約1.2倍にアップ、さらに大型のサインに対応します。*

EcoNoLac Type-SH

EcoNoLac SH

CO₂排出量を約34%削減

再生原料を全く使用しない気泡緩衝材1本(※1)の、原料採掘から製造、輸送、廃棄までで排出されるCO₂は約9.4kgにもなります。再生原料を使用したエコハーマニー®1本(※2)の、原料採掘から製造、輸送、廃棄までで排出されるCO₂は約6.2kgと、約34%減らすことができます。気泡緩衝材を利用するにあたり、CO₂排出量が高いのは原料採掘～原料精製の工程と、廃棄(焼却処分)時です。ゆえに、再生原料を使用すると、原料採掘～原料精製の工程が異なり、CO₂排出量が大幅に減るのです。

※1) 1本=H37 相当品 (1200mm幅×42m巻)
※2) 1本=H37 (1200mm幅×42m巻)、カラーにこだわらず再生原料を使用しているため、色にばらつきができます。色は選べませんが、クリア(透明タイプ)とミルクキー(半透明タイプ)があります。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
浄化槽法	浄化槽
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



外部からの環境上の苦情・要望等

今までに一度もありません。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022年12月1日	■実施場所 本社工場
■参加者： 従業員全員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 避難経路や消火器の使用の確認と通報の練習など	
■評価： 問題なし	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 避難経路の確認、消火器の設置場所と使用方法・保管状況についての周知	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年4月3日

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <p>現在は産廃の排出はないものの今後の為、契約して環境法規取りまとめ表に産業廃棄物についての記述をすることを推奨いただきました。</p> <p>→ 創業以来産業廃棄物の排出はなく、今後も排出するような製造方法をしない方向です また、1Fのコンプレッサーは第一種特定製品と記載されており、フロンが使用されている為、エアコンの点検表に追加し簡易点検を推奨</p> <p>→ 点検表に追加し、簡易点検を実施しております。</p> <p>環境経営レポートの記載もれ等の指示→前回訂正させていただき、今回もそれに沿って作成しております。</p>

エコアクションを開始して10年以上経過している為、使用量の削減も限界が見えてきましたので、今回は水道光熱費の目標を100%に設定し、現状維持を目指し、ほぼ良い結果になりました。

新型コロナウイルスの影響も2022年度後半は落ち着きが感じられ、感染拡大のリスクは少なくなったものの、長引くロシアの侵攻による影響と合わせて、原材料や資材の価格高騰はとどまるところを知りません。半年、1年で大きいものは1.5倍～2倍になったものも存在します。得意先の事情もあり、高騰分を自動的に製品価格にそのまま反映させることは難しく以前と同じ受注があっても利益減の状況が続いています。

今後もあらゆる商品を一気に発注できるビジネスパートナーであり続ける為に立ち止まることなく、環境にも配慮しつつ持続可能な社会の一企業としての役割を果たしていきます。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	変更の必要性は感じられませんでした
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	目標・計画はできる限り具体的に毎回見直したい
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	随時必要に応じて対応していく

これまでの環境活動の紹介

できるだけ環境負荷が少ない商品の購入の推進など



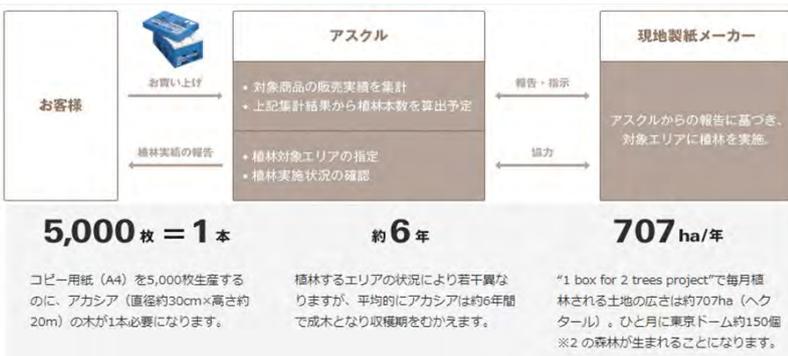
ネピアの紙は森を守る紙 FSC®です。



Support the SDGs FSC®はSDGsの目標達成に寄与します。

“1 box for 2 trees project” とは？

インドネシアにおいてA4サイズのコピー用紙1箱（A4/5,000枚）※1 生産するのに、アカシアやユーカリなどの植林木が約1本必要です。“1 box for 2 trees project”では、お客様が購入されたインドネシア産コピー用紙で消費された原材料の値以上の植林木を、生産国であるインドネシアの適切な地域に行い、持続可能な原材料になりえることをアスクルが確認していきます。



編集後記

水道光熱費に関しましては10年以上エコアクションにて使用量の削減を目指して結果が出ていたものの、限界値が見えてきましたので、今回は100%現状維持を目指してほぼ良い結果になりました。節水・ゴミの分別（端材の分別）・ゴミの削減（ゴミ排出量記録表の活用）は定着しております。前回指摘頂きましたコンプレッサーや業務用エアコンの簡易点検も点検表に追加し、点検を実施しております。今後もエコアクション認定を受けている企業として、環境に配慮した製造・商品の提案を継続して行っていき、持続可能な社会の一企業としての営業活動に参加させて頂いていることに感謝しております。